

# 生成系 AI と上手に付き合うために

生成系 AI は、文章、画像、動画、作曲など、なんでもそれらしく作ってしまうすごい技術です。ただ、一方で私たち人間が自分自身で考えたり、判断したりする力をおとろえさせてしまう恐れもあります。特に成長期にある皆さんにとっては、影響が大きいことが心配されています。

AI の技術はまだ実験段階です。学習への活用についてはもう少し慎重である必要があります。以下のことに注意して対応してください。



1 学校で配布した学習用タブレット(Chromebook)で生成系 AI は使わない。

2 学校で出された課題を AI で作成して提出しない。

(1) レポートなどを AI に作らせない。

自分の力で調べてまとめることが学習の目的です。正しい資料を使って、自分の力でまとめましょう。現在の生成系 AI の回答は、多くの間違いがあります。

(2) 読書感想文などを AI に作らせない。

読書は、本を読み切る力、読解力、想像力など様々な力を養います。感想文を AI で作っても何の力もつきません。説明文や解説文などの課題も同様です。

(3) 計算や翻訳などを AI に作らせない。

計算や日本語と英語の翻訳などは、「自分自身の力でやること」が目的です。例えば、AI に解かせて、答えだけを書いても自分自身の力をつけることにはつながりません。俳句や短歌、絵やイラスト、作曲なども同様です。

(4) 誰かの権利を侵害しているかもしれません。

AI は誰かの文章を組み合わせて回答をつくります。もしかしたら、他人の作品や文章をそっくり真似ているかもしれません。それは誰かの利益を侵害することになります。

3 個人的な利用でも注意すべきこと

(1) 個人情報を書き込まない。

入力された個人情報は、AI に読み込まれ提供されてしまいます。消すことはできません。また生成系 AI がどのような処理をしているかわかりません。安易に個人情報や秘密を書き込んではいけません。

\* 公開されている SNS の書き込みなどはすでに読み込まれて、利用されています。

(2) 他人に対する悪口や差別的、暴力的、攻撃的な回答が含まれることがあります。

AI には感情や人格はありません。そう感じるように作られているだけです。責任もとってくれません。トラブルが起こったら自分の責任になります。十分注意を！

## 【生成系 AI の現時点での問題点や不安な点】

正確さに欠ける

著作権が守られない

責任をとらない

法律が未整備

正しそうなのでだまされる

正しいかチェックできない

これからどうなるか誰もわからない